



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の原爆先生の特別授業
ありがとうございました。
今回の授業で、原爆の悲惨さが
伝わりました。一瞬に於て、何万人という
人が亡くなったことに胸がしめつけられ
ました。悲しいという気持ちよりも、ひどい
や、かわいそうという気持ちの方が頭を
よきりました。そんな私をさらに苦しめた
のが、川に死体が、たくさんあり、その
死体の皮膚がとれたり、皮膚から油が
出たりと、想像を絶する話を聞いて、
悲しかった私が、こんなことをするなんて、言
語道断たと思いました。なぜ、昔の日本は戦
争をしてしまったのかと改め思いました。原爆の
被曝者の死体を考えると涙が止まり
ませんでした。最後になりましたが、
私は、今回の授業の前、靖国神社に行きまし
た。そこで、戦争のひびきを私は分かったつもりでし
たが、今回の話で、分かったことがたくさんありました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、授業を聞いて、実際の現場は、
テレビなどで言っている事よりも、もっとひどく
たんだと言ふ事をして、その後現場の片付けなど
をした人がいた事を、はじめて知りました。川が
干上がってしまったり、木などが、灰も何ものごと
消えてしまったという、強かな原爆の、1000倍
の力の原爆を、色々な国が保有している事
に、おどろきました。原爆が爆発したら戦
争に関係ない多くの人や動物が被害にあ
う事を知って、原爆は作られてはいけない使わ
れてはいけない物だと、強く思いました。爆発が
出来た球の中心温度が100万度、表面温
度が7000度、地表温度が3000度という高
温を発生させる原爆はおそろいと思は
れます。世界にある原爆は、どんどん減らして
いかなければいけないと、強く思いました。
授業をしてくれて、本当にありがとうございました。
色々な事を教わられて、本当に良かったです。
です。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は、原爆のことについておしえて
くれてありがとうございました。池田
義三さんが原爆ドームをおどされたの
は冬といっていましたか、ぼくは夏のとき
に行きました。それをノートにまとめて
自由研究として出しました。原爆先生
の話を聞いて自分が知っていること
がすくなくて本当に体験しないと
分からないことを教えてくれました。
その話の中に原子爆弾にパラシュ
ートはついていないというところにお
どろきました。ぼくは「ハダシの元」を
読んでいたときの原子爆弾にパラシュ
ートがっていたので本当におどろき
ました。原子爆弾を投下する処場所は
いくつかありその中でも京都が「第一で
いいときいてでもそこには文化遺産
がたくさんあるからだ」ということはアメリ
カ人も日本のことを考えていることが分った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

先週は、お忙しい中、本町小においていただき、ありがとうございました。少し暗い部屋の中で、池田先生が語られたお話は、まるで実際に体験されたお父様がそこにいて語っておられるかのようなリアリティでした。広島にいながら、偶然にも助かったこと、被爆された方を助けたくても助けられない辛さや苦しみ、地獄のような光景、徐々に働かなくなっていく感情……。この平和な世界に生きている私たちにとって、池田さんのお父様が体験されたことは、まさに想像を絶するものだったのだと思います。

授業の終わりにお父様自らが体験を語る映像の中で、涙と共に絶句する場面があります。その姿こそが戦争のおどろかし、原爆で体と焼かれ絶命にいった何万人もの方々の無念さ、悲惨さを伝える姿であったと思いました。1時間半の、重い現実を受け止めなければならぬ授業でしたが、受講した子ども達は、真正面からしっかりと受け取めたようです。真実の語りは、何れも胸に迫ってくるものでした。貴重なお時間を私たちにくださって、本当に感謝しています。終戦70年の今夏、今まで避けていた（見るのが苦しくて）戦争のテレビを何本か見ました。その中で元軍医が「戦争をしている時は日本人と人間と認識していなかった」と語っていました。戦争とはそういうものなのだと思えます。平和な世界を築いていくためには、



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

世界中に広く目をつけること、たくさんの国の人々と関わり、
コミュニケーションをとっていくこと、互いを知ることが大切なのだ
と思います。6年生たちが、多くの温かい人間関係の中で
成長し、視野を広くもち、臆ることなく世界へふみ出して
けるよう、ここからの日々を支えていきたいと思いました。
最後になりましたが、ここからもお体を大切にして、この活動を
ずっと続けていて下さいます様、お願い申し上げます。
お世話になりました。本当にありがとうございました。

平成27年 9月14日

小倉市立本町小学校

6年担任 相沢陽子

杉山祐太郎



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆は、おそろしい物だと分かりました。兵隊士人の日記を聞いているうちにもう聞きたくないと思いました。なぜかというとその内容は、おそろしい、かわいそうとい、た内容がふくまれているからです。

ぼくは、原爆先生からいろいろなことおそろしかったです。

原爆をつんだ飛行機エノラ・ゲイは、なぜエノラ・ゲイというのか元は、乗っていた機長の母の名前です。原爆にも名前があり名前は、「リトルボーイ」日本語かえるとちさな子、少年です。ぼくは広島に下された原爆にも名前があるんだなあと思いました。

原爆がぼくはつしたとき暑さはぼくはつした中心温度は、100万℃外がわでも7000℃です。太陽の外がわ3000℃にたいして7000℃です。すごいなあと思いました。

ぼくはあらためて戦争は、すこくおそろしいんだなこんなことがあ、てはいけなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回は私がまだ知らなかった原爆の真実を知ることができましたと思います。例えば、原子爆弾「リトルボーイ」は太陽のような熱さで、一瞬でくたせる人も2万人ほどこいたと聞きとても驚きました。被爆者の姿を聞き想像することの組り返しの中で、自分ではもう少しで耐えられなくなるような場面も少なくなく、それほど悲惨な出来事だと改めて感じました。今から約70年前の原爆投下で出た放射線で原爆病にかかり今も苦しんでいる人がいると教えていただきました。私の両親もそして私自身も産まれていないときの出来事でも今も苦しむのは本当に大変だと思います。原爆は日本の消すことのできない悲惨な過去。目を反らしたくなるが知らないといけない忘れてはならない過去。そのようなことを教えていただき本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回は、私たちのために広島の原爆の話をし下さりありがとうございました。私たちの世代は、戦争関係のことは、よく知りません。だから、今日の原爆の話を聞いて戦争の大変さや悲惨さをくわしく知ることができました。一番心に残った話は、爆発後の人々の姿です。皮ふがボロボロになり、全身やけどしているというのは、想像するだけでこわくなります。原爆は、人たちを大きく変えてしまったのだと思いました。この特別授業を受講してみて考えたことがあります。それは、日本でこのようなできごとがまた起こらないように、世の中にもっと伝えていくべきであるということです。しかし、戦争の体験者の方もだんだん高れいになってきているところは、対処するべきだとも思います。私も、戦争のことや原爆のことを知るために、原爆ドームや資料館に行ってみようと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

池田さんへ

今回は広島の前爆について話してくれてありがとうございます。今回ぼくは

この原爆の話聞いて今まで思っていた以上に原子爆弾の強さがわかりました。たとえば原子爆弾の暑さが太陽の暑さと同じくらい

だということは初めて知りました。ほかにも和風文化がたくさんある京都が候補だったということも初めて知りました。このような池田さんの話を聞いてぼくは二つの事を思いました。それはどういふ事です。

- ・戦争は体当におそろしい。
 - ・戦争は決してや、てはいけないことだ。
- ということです。

ぼくは池田さんの話を聞いている時何回も頭の中で原子爆弾を実際に受けた人の姿を想像していました。こういう悲惨な出来事はもうこれ以上頭の中に入れたくないです。しかしこの日本のために戦ってくれた兵隊さんには感謝をしたいと思います。今回は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、授業を受けて原爆のおそろしさや、残酷さをより強く感じました。また、原爆投下都市を決めるための条件があったことや、原爆が、地面に落ちる直前には、約7000度もあったことなど、とてもおどろきの事実を知りました。中でも、一番おどろいたのは、広島に投下された原爆の原料の「ウラン」が、60kgも積まれていたうちの、たった1kg、燃焼しただけで広島市内をふき飛ばしてしまうほどの威力があったことです。たった1kgでこれだけの面積を破壊してしまう「ウラン」が、とてもおそろしく感じました。また、今では、この1000倍もの威力を持った核兵器などを、各国が持っているので、絶対に、それを使わなければいけないようなことが起こらないといいと思いました。このように、原爆のおそろしさや威力などを、この授業を受けて、知ることができたので、原爆のことをよく知らない人たちに、二度と、この悲惨な原爆と同じようなことが起こらないように伝えて行きたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私はアメリカの人々が京都に原爆を落とす候補にな、たけれど文化財があるから断念したという思いやりの心があったのになせ原爆を落としてしまうことにな、たのかを疑問に思いました。

そまた、ワイズに出したウランが1kgで広島市全体を破かいしたことで、もし残りの59kgも爆発していたらというおそろしさに背すじが寒くなりました。

本日は私たちに原爆の授業をしていただきありがとうございました。こんなひどい出来事はもう二度と起こってはいけないと感じ、先生のように次の世代へ責任感を持って戦争のおそろしさや原爆のこわさをして今日も普通に暮らせる幸せを伝えていきたいなと思いました。本当に本日はありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は、お忙しい中本町小に来て、原爆
についてのいろいろな話をして下さり、本当
にありがとうございました。

僕もこの特別授業を受けて、感心した
のは、やっぱり「飛ろし」ということだ
でした。1kgしか爆発してはなかったウランが、もし
全て爆発したら多分なんて考えると、空恐しく
なります。でも、それと同時に、今回教えて
頂いたこの恐しさや残酷さを、忘れてはい
けないと思いました。そして、誰かに伝え
ていくことも必要だと思いました。もし、
数十年、数百年後、このことが忘れ去ら
れてしまつたら、と、と恐しいことになつてしま
うのかと知れません。だから、僕は、原爆と、
それを生み出したとも言える戦争の酷さから
目をそらすず、しっかりと受け止めて生きて
いこうと、改めて思いました。

改めて、今日は、たくさんのお話を教えて
下さり、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、貴重な原爆の話をお聞かせ
下さってありがとうございました。私
は初めて原爆の話を聞きました。知ら
ないことがいっぱいありました。私は、
おどろいたことがあります。それは、ばく
だんのことです。すごく温度が熱かた
り、衝撃波で飛ばされたりすることです。
ウランというばくだんが1kgしか使わ
れていないのに、広島町がなにもかも
なくなってしまうとこわいなと思いました。
ばくはつしたときの温度が7000℃で、外
にいた人々は、すごく苦しかたと思います。
私はこのとき、広島にいた人々はなにも悪
くないのに苦しむことになってしまったのが
かなしいです。原爆のように、ばくだんを
落としたりすることは、人々がすごく苦しむた
けでいいことは絶対はないと思うので
これからは、そういうことはしてはいけ
ないとあらためてそう感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

9/8

今回の原爆の話聞いて、戦争は辛い
だけでは伝えられないくらいのおそろしいも
のだということが分かりました。原爆先生
から原爆のことや、被爆者のことを聞いて、とくに
印象に残ったのは、被爆者のことです。原爆先生
の話聞いただけで、その風景が浮かんで
きて、なんとも言えない気持ちになりました。
そして、軍人だった人も被爆者を助けたいのに
助けることのできない気持ちや、亡くなった人た
ちを運ぶときのとても苦さが見えてしま
した。私だったら、もうできないと思います。

そして、もう一つ印象に残ったのが、原爆の温度で
す。原爆が落とされたあとのものの中心は、100
万℃もするというのを聞いて、おどろきました。
地上に落ちてても、3000℃という信じられない熱さ
だということが分かりました。

最後に、この話を聞いて、絶対に戦争はしては
いけないものだということを私に教えてくれました。
私は、日本が絶対に戦争がないことを心から祈っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は今回の受講で沢山のことを学ぶことができました。その中でも、と心に残ったことが2つあります。1つ目は戦争を1回してしまうと余りがくる、つまり沢山の人の人生を変えてしまうということです。戦争をすることによって20才にもなっていないのに戦場に行き、戦死したり、空襲によって町が焼かれたりとすごく残酷だと思いました。2つ目は原子爆弾と被爆についてです。広島におとされた「リトルボーイ」では7割いた60kgのウランのうち1kgしか燃焼しなかったのにあんなに強くて、それが原爆はものすごくおそろしいと思いました。また中心の温度は100万度、表面は太陽の表面温度より1000度近く高い7000度、地面は3000度までになるとはものすごいものだ」と実感しました。被爆で「皮膚がただれてしまう」とすごくおそろしいと思いました。今回はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

特別授業を受講して私は一瞬間で周りの様子が変わることでできるということと、戦争のこわさを知ることができました。ほんの数秒前まで平和だったところがわずか数秒で全くちがう世界になることがどれほどおそろしいことかを知ることができました。さっきまでとはちがう灰色一色の世界には、爆発によってやけどをして、亡なりました。た人などかいたということを知って今ふつうに生活できていることがどれだけ幸運かでどれほどすばらしいことかを知ることができました。戦争は言葉ではあらわせないほどおそろしくこわいものかなどいろいろな戦争について知りました。あつがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、この授業を聞くまで、原爆の事を全くと言っていいほど知りませんでした。でも先生の話聞いて広島に原爆が落ちた後の人々の姿や行重カ、リトルボーイの恐ろしさや、広島の後、長崎に原爆が落とされた事を知りました。原爆が落ちてきた時に、水分がうばわれ、はいとなりしゅんで消えたと聞いたときはとてもおどろきました。原爆にあつた人々の姿を聞いて、人間か人間によくこんな事が出来るなあと思いました。また、リトルボーイのような恐ろしい物をよく人間は作り出したなあと思いました。そもそもなぜこのような事が起きたのかと思いました。私はもう二度とこのような悲劇が起らず、平和な世の中になつてほしいと心から思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私が、池田さんの話を聞いて戦争は、とてもつらかったなと思いました。

手がやけるというのは、今では信じられないことなので、とてもびっくりしました。それに、戦争で生きのこった人も、とてもすごいと思いました。

戦争での広島県の人々の死亡率が40%もあることを知りました。

人の命はとても大切なのに、かわいそうだなと思いました。

話を聞いていて、人が灰になって消えてしまうことをはじめて知りました。

あつさで人が灰になって消えてしまうのは、こわいと思いました。

たった1kgのウラニウムでも、たくさんの建物をこわせるのは、すごいと思いました。

戦争がこわいことは知っていたけど、私の思っている以上にこわいことだと分かりました。いざ知れ良かったです。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

9/10

特別授業で原爆のおそろしさがわかりました。原爆「リトルボーイ」の強さがすごくて爆心地が100万メートルで太陽より暑くてすごくおとろきました。

3000℃だと人の体の水分がいっきに蒸はつして灰になるのがおそろしいな、とおもいました。

広島県産業奨励館がはくしんで原爆ドームにたのたのを初めてしました。

広島市人口が35万人のうちの14万人の人が死んでしまい死亡率40%というおそろしさがすごいです。

原爆先生原爆のおそろしさを教してくださったありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、授業を受けて、原子爆弾は、すごいと思いました。
とくに、ウラン235が約60kg使用されたのに約1kgし
か、かくぶんれつ反応を起こさなかったのが、約60kg全
部が、かくぶんれつ反応を起していたら、すごいこわいと思
いました。1945年8月6日午前8時15分に爆弾がおと
され、死者14万人のうち2万人が1ヶ月で死んでしまい
太陽より熱い7000℃もの爆弾が音速(340m/秒)
よりも速いスピードで衝撃波(毎秒440m)が
2回もあつたことなど、もすごいと思いました。
また、マンカブでは、原子爆弾がパラシュートで落
ちていたけど、実は通常投下だったということを知
ることが出来ました。原爆では、死ななくても、放
射線にあたり原爆病になってしまい今も苦しんで
いる人、原爆病で死んでしまった人のことを知って、
戦争は人の身体と心をきずつけてしまつて、何の良
事はないと感じるので日本だけでなく世界全
域での戦争をなくすことで原爆病になって死んで
しまう人がいかに平和な世界になると思いますが、その
ためには、争いをなくさないといけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

9月8日は戦争のことを分かりやすく
教えてくださりありがとうございました。
話を聞いて分かったことは、私が思っ
ていたよりも戦争は大変で二度とおこっ
てはいけないものだと分かりました。
戦争に行った人達のつらさがよく伝
わってきました。戦争が起きている
ときの地上の温度は鉄がとける温
度よりも熱かたのでびっくりしまし
た。原爆くドームのもとの名前は
広島県産業奨励館だったと分か
りました。問題で出された1kgは
ウラン235の重さだと分かりまし
た。衝撃波の速さは毎秒440mで
音速よりも速いことが分かりまし
た。1番目に広島に原爆がおちて
2番目に小倉でおちて3番目に長
崎で原爆がおちたことが分かり
ました。リトルボーイが地上600m
で爆発したときの温度は100万℃
と17000℃で太陽の表面温度
6000℃よりも熱かたのでび
っくりしました。戦争の話を聞
いて戦争のことが分かったの
でよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

本日は、ありがとうございました。私は、この原爆の話を聞いて思っていたより大変で、つらかったと知りました。私が一番印象に残ったのは、広島市人口35万人の中で被爆者24万人、死者14万人だということです。この原爆があったから広島市の人口35万人の8割ぐらいが被爆者でその中からの14万人が死んでしまっていたので、始め私は、何でもと救えなかつたんだろう?と思いました。でも、話を聞いていくと、助けたいのに助けてあげられない苦しい思いでいたということが分かって、これからは、こんな苦しい思いをしないように二度とこんなことがおこらないようにしていきたいと改めて思いました。おどろいたことは、原子爆弾が落ちた時にとても熱い熱が広島市をおもたことです。太陽の平面は6000℃ですが、広島市をおもた熱は、17000℃ぐらいと聞いて、太陽より熱い原子爆弾の熱に21万人の人々は、がくばって、熱さにたえていたんだと思い、私がもしこの時代に生きてたら、熱さにたえきれないと思いました。私は、今、ふつうに暮らしていること、友達と会えることが、とても幸せだなと思いました。そしてこんなことがおこらないようにしていきたいと思えます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のお話を聞かせていただきありがとうございました。ほだしのゲンで知るところは知っていたけど、今回のお話を聞いて、想像もつかないほどおそろいものだと分かりました。他に、おどろいたことは原爆資料館に行った義三さんが原爆を受けた直後の人の人形を見て「キレイすぎる」と言ったことです。あれでもあんなにすごいことになっているのに、それ以上にすごいものたとは思いませんでした。あと、光に当たった人が黒いけになっていっしゅんで消えてしまい、残ったのはかげだけにな。という映像が怖かったです。

リトル・ボーイが落とされたとき、空で爆発しそこから落ちたということが分かりました。

中心温度が100万度というのか、どれほど熱いのか、まったく想像できません。多分、この世で一番熱いものたと思います。これからはもう二度と戦争はおこしてほしくないと思ったりして、この世で戦争はやめてほしいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆について、分かったことがたくさんありました。

一番怖かったのが、3分程のビデオで、階段に座っていた人が一しゅんで灰のようにしてとんでいったことです。

また、皮膚がはがれて普通に歩けないのは、脚がこすられて痛いからというのをきいて、そんなに痛いんだな、と思いました。原爆は、7000℃で太陽よりも暑いと知り、しかも上空600mであるのが、すごく恐ろしいと思いました。

つかんだだけで、皮膚がはがれ、液が出てくるのが正直びっくりしました。

生臭いにおいにもたえて、また死体の処理をするなんぞ、どれだけの勇気と根性が、必要か分からないけれど、相当つらくて大変なのはよく分かりました。昔の人は、すごくしんぼう強く、前に向かって信じていて、すごいと思います。また、戦争は忘れたくても忘れることは決してできない。忘れてはいけない現実であるので、戦争の時代に、すごく元気で生きて抜いた人々を感謝し、亡くなった人々の冥福を祈って、このことを後世にどんどんつなげて、命を大切にしななければならないと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9月8日(火)は、原爆先生の特別授業をしてくれてありがとうございました。

私は、テレビのニュースなどで「戦後70年」のことについて放送しているのを見て「あぁ...怖いな。」ぐらいの気持ちでしたが、今日、実際の写真や映像を見て、すごくゾッとしてしまいました。そして戦争の怖さと悲しさと重大さを感じました。

おどろいたことは、ゴルフボール1個分の大きさで広島町全部焼かれてしまうということです。こういうすごくきけんな物が、世の中にあることにおどろきました。

私はたまに、友達とけんかして、すごくムカついてたときに、心の中で「死ぬ」とか思っていました。そういう言葉は使わないようにしようと思いました。

もう、この世の中に「戦争」をおこさないようにしようと思いました。私一人の力だけでは無理ですが、少しでも協力していきたいと思いました。戦争についていろいろ教えてくれてありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は特別授業を聞いて、原爆を一つ
 おとすのに多くの人か死んでいくのは
 とてもこわいと思いました。なぜなら、さ
 きまで生きていた人たちが、原爆がおちた
 ことで、ぼぼいっしょんで死んでしまい、お墓も
 ないことはとても悲しいと思います。

特別授業を聞いて最も、おそろしいと
 思ったのは、熱線、衝撃波、放射線です。

熱線では、太陽よりも温度が高いものが、
 約600mぐらいの高さかくるのは、とてもおそ
 ろしいと思いました。リトルボーイのうらん
 60kgの量がねんしょうした1kgはゴルフボール
 の分ぐらいいでも広島が全部なくな。たのは
 すごくこわいと思います。なぜか1kgしかねんし
 ょうしなかつていうと当時そこまでの技術がないと
 言われ、当時全部がねんしょうしなくてよか。たと
 思います。でも、今は昔よりもすごく技術や
 学力が進んでいゝから、今、ここかと戦争などを
 したらとてもこわいので、もう戦争などはやらないで



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

爆弾はいろいろな種類があり
すごいなあと思いました。とくに
原子爆弾がすごいと思いました。
理由は六百メートルもはなれた
上空から爆弾をおとして一瞬にし
て人間の生命をうばってしまうなん
て原子爆弾の威力はすごいなあと
思いました。あと原爆ドームもすごい
と思いました。理由は人間の生命
までうばったほどの威力をもつ
原子爆弾の爆発にたえて、少しでも
のこっている原爆ドームはすご
いと思いました。原子爆弾をうけて生
命をうばわれた人々はまたはいまで
も放射線にあたって病気にならん
でいる人々はかわいそいだと思いました。
ふつうに過ごしているときにいきなり
原子爆弾などをおとされてその人々は
すごく「災難だったな」と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、今日原ばくについて聞いてみて、原ばく
や戦争のおそろしさを知って、とてもいいわしい
と思いました。その反面、戦争という
あわれなことをなせしてしまったのか？
と疑問を持ちました。

そして、このお話の中で、死体を運んだり、
火葬やしたりすることを自分がもしそれをしてい
たらと思うとぞっとしました。

それほど原ばくはおそろしい物だと改めて分か
りました。

さらに映像を見た時に、ばくだんが投下
されてからほんのーしゃんでばくはっをしている
様子を見て、ぼくは、こんなにも早く通常の
生活が変わったり、こんなにも早く多くの
のぎせいや命をうばって、いいものなのか
ととても思いました。そしてこの受講で
命はとても大切なものだとして改めて身に
しみて思いました。そして、様々な人に伝えたい
と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

はたしのケンでも知っていましたが
あらためて広島はくこのこわさ
が分かりました。そして熱線やしょ
うけき波などでばくしん地の近
くにいた人は熱で水分が一しん
どうばわれ灰になてかけたけか
残ることにとてもおどろきました。他
にも1kgの放射線分質がいろんなは
んいにとび白血病などの病をひきお
こしていることを聞いてとてもぞと
しました。そして義三さんが見た原
はくの目もそむけたくなるような
現実を聞いて戦争は絶対
にしてはいけないとあらためて
思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、今まで、ぜったいに戦争はしてはいけ
ないと思っていました。けれどもいろいろな話
をきいて、ぼくの考え方をすけれども、太平洋戦
争のようなものがおこらなからたら、今のよう
平和で戦争の無い日本は、無かったと思っ
ました。たくさんのおぎせいがいてくれたから、
今の日本があると思ひ、おぎせい者に感謝
したいと思ひます。原子爆弾が二回も投下
されたことは本当につらいことです。けれど
も、投下されていなければ、今の時代まで、
太平洋戦争が絶つていたかもしれませ
ん。戦争は起こしてしまいました。今のぼ
くたちには争いはしてはいけなひ、起こして
はならないと思ひます。たくさんのおぎせいの
話を聞いて核兵器は、この世にはいらなひ。
けれどもこの世に核兵器があつた、あることに
ぼくはかなしくなひます。戦争時代から今までの
長い長い年月があつたので戦争はしては
いけなひ、につながつていたと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生として授業をしてください。ありがとうございます。ぼくは、池田さんの話を聞いて想像よりもすごいと思いました。なにがすごいかというと、なんらかの命令を受けて、死体をついで川と死体もやく場所を往ふくするということはぼくにはとてもできないと思いました。ぼくは池田さんの話を聞いてもう一つ思ったことは、戦争は「人が人を殺す残こななもの」ということです。「人が人を殺すこんなことをくりかえしていたら全世界の人がみんな全滅してしまいます。ぼくは、せうたいにこんなくだらない争いで死たくありません。原子爆たんもおなじです。原爆一つでたくさんの方が一瞬間で死んでしまう。でもまだ他国では原爆をもっていることがあることそして原爆で仲間を失った悲しみを広げていってください。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回は、貴重なお話を聞かせていただき、
本当にありがとうございました。

原爆の話はなかなか聞いたことがなかったので
驚いたことがたくさんありました。特に驚いたことは、

原爆の爆発直後の温度が太陽に匹敵するほど
だということです。太陽は地球からかなりはなれているのに
も拘らず地球温暖化という影響を地球にもた
らしているのにその太陽が上空600mに現れたのと同じことが
広島におきたということを考えるとすごく小怖いです。

それからなによりこの原爆投下による死者の数
です。被爆者数24万人、死者数14万人、死亡率40%。

たった1回だけ広島に原爆が投下されただけで、これだ
けの人が死んでしまうということを考えるとやはり争い
は絶対にはいけないと思います。そして、これからは、

この悲惨な過去から顔をそむけずに、しっかり
これから伝えていかなければならないと思います。

改めてこの特別授業を受講して争いは絶対にはい
けない、おこさないということを学びました。そしてこの原爆
の警告はずっと先までとどいたらいいなと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

ぼくは、池田さんの話を聞き、原子爆弾とはとてもおそろしいものだと思いました。広島と長崎のほかにも横浜や糸川や京都も原子爆弾をおとす候補になった都市だということを知りました。原子爆弾が爆発したのは地上から600mほどしかはなれてないところから太陽よりも熱い温度でぼくはつしたことを聞き、とてもおどろきました。

広島に落ちた原子爆弾のウラン60kgのそのうちの1kgほどでまちや人をばかいしたことも知りました。

広島に落ちた原子爆弾でもいりよくが とても強いのにその千倍以上のいりよくがある爆弾があることも知りおどろきました。

そして、原子爆弾による被爆者数は24万人もいるということを知り、あらためて原子爆弾とはおそろしいものだと思いました。

もうこのようなことはおこってほしくありません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

今日は原火暴のことを教えていただきとても勉強になりました。まず興味をもったのは「エノラ・ゲイ」です。落下させた飛行機は知っていたけれど、機名は知らなかったの、また一つ知識が増えました。先生の話聞いて、ドラム缶につかまってるってありますが、やはりドラムの後ろにひなんしたりする所が訓練をやっていてよかった事だなと感じました。物資運搬する時に且かけを求めている人の事を聞いた時に、ふっらの罪のない国民がそのようになるなんてかわいそうという思いや原火暴などはあてはならないと思いました。その後の死体を採る時にも、国民がんなひさんなことになる、軍隊としてつらいんだらうな、とも思いました。このような事は二度とくりかえすことのないように、後の人たちにも、この思いを伝えることができれば世界もずっと平和であり続けるんだらうと思いました。この話をきいて日本の歴史を知ると同時に、今ある命の大切さを知る授業にもなったと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

たくさんの学校に特別授業に出かけられて、
いそがしい中、本町小にも来て、話をしてくだ
さりありがとうございました。

テレビで原爆の話を聞いたり、授業で習いま
したけれど、これほどくわしく話を聞いたのは初めて
です。おずか3.12の重さ4セの爆弾で14万人の
人が命を落としたということが、衝撃的に思いま
した。そして燃料の60分の1しか燃焼しなかつた
のに広島の人口の40%を死亡させてしまう
威力におそろしさを感じました。

今、僕ができることは、池田先生から聞いた話を
心に刻み、原爆のおそろしさを年下の子たちに
伝えていくことだと思います。

広島原爆資料館にも足を運び、戦争につ
いて、学びたいと思っています。

また、戦争を二度とくりかえさないためにも、集団
的自衛権の行使に反対したいです。

いつまでも世界が平和であることを願って
います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

私が今回学んで、一番心に残り、深く考えたのは、球体のことです。

太陽でも6000℃なのに、落とされた球体の中心の温度は、太陽をはるかにこえる100万℃と聞きました。鉄でも1500℃でとけるのだから、人間がその中心にあたりしたらなどと考えたらとても怖くなりました。そんな球体が落とされる時代に、池田義三さんはとてもがんばっていて、本当にすごいと思いました。

また、球体の真下にいた(外にいた)人は、いっしょんにして消えてしまうと聞きました。人間が消えることはないけれど、そのように見えたことは、本当におそろしいと思います。また、このように、簡単に人が亡くなってしまうことを聞いていたら、自分たちは平和にくらしていて、どれだけしあわせなのだろうと思いました。戦争のあったことは忘れずに、毎日過ごしていこうと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは戦争が嫌いでした。嫌いといっても、戦争自体が嫌いなのではなく(好きでもあつせんが)、戦争の写真や映像を見るのがこわくて嫌いでした。でも、今日はおもいきって話しを聴きました。その話の中には、こわかったことや、おどろいたことなど、いろいろなことがありました。

例えば、原子爆弾の熱線としょうけき波で人が消えてしまうことにはおどろきました。また、積まれたウランの中で、たった1kgが燃焼だけで、広島建物がいし、40%もの人が死んでしまう破がい力にはおどろきましたし、こわくもありました。そんな兵器をまた所持している国があるのはあつてはならないことだと思ひます。

原子爆弾を落とされたのは日本だけだといひたことがあつます。でも、たからこゝろ日本にはあつてきることがあつると思ひます。戦争のおそろしさを伝へ、あつこさなひようにする。そんな人もあつなくなつていひます。たから、ぼく達の世代が戦争を知ることが大事だと思ひます。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

思ひます。

今日、先生が来てくださったことに感謝してひます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

私は、原爆先生の特別授業を受講してみたら、原爆とは、この世には考えられないほど人々に悲しみをあたえ、あつはならない戦争というおそろしい争いが生んだとてもおそろしい物なのだと感じました。また、はくたんが落ちてきたときは、太陽が真上にあるのと同じことだということ。たつたのしゅんて生きていた人が亡くなってしまうということ。たつたの1kgのもので、24万人の人が被爆してしまうということにおそろしくてこわさを感じました。そして、原爆からなんとか生きのびた人の色がなにもなくなっていた。世界をまのあたりにしたときのこわさ。もう人間とも言えず、苦しみにもたえる人の気持ちはずう考えられないものだと考えました。90分の原爆についての話を聞いていて、今生きられているのは幸世に生きているのはとてもきちようあたりまえなことだと、この世からは旧し日を大切にしたいことと思ひます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、原爆について知らなかったことも
くわしく知れて勉強になりました。
でも、やっぱり、実際行っていないし生まれて
いなかったから、今日勉強した以上に
すごいものだったんだろうなと思いました。
すごく小さな爆たんなのに一瞬にして、
命が消えてしまう人もいるんだなと思う
と原爆はとてもの怖いものなんだと改めて
感じました。そして、池田義三さんたちは
亡くなった方を運んだり色々なこと
を経験されていきました。みなさん
すごいなと思いました。そして、生きている人
を背負うとあたたかさを感じた
と話されていて、やっぱり亡くなった方を
背負うのとは思いがちがうんだなと思いました。
このような時代に私達は生まれず、今
こんな平和な時代に生まれたことに
ありがたみを感じました。これからも平和に
感謝をしながら生きたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆をあまり知らなく、先日改め知らな
か、たので「いべんきょう」になりました。
まず原爆は、急に落せん大やけど"になるとい
うことです。このことからせんそうは、いけない
と思いました。太陽の表面温度よりも高い
と、その場にいた"けもやけどをし、ひる
かボロボロになるのにそれを運ぶ"勇気が
とてもいるでも考えるひまもなく、い本を
もつのが"すご"いと思いました。
その場にいた人も、"すご"くわか、たのが、
話を聞いて"すご"く伝わりました。
1回の原爆での死亡率が"40%"もとても高い
数字だ"と"おそろしいこと"が分かった。
最後に代表委員"が"言、ていた"よう"に今、私たちが
生きているのは、"当り前"ではない。生きているのに
感謝をしなくてはならないことを知りました。
また、原爆は、どれほど"おそろしい"のか、どれほ
どのま"う"ふか、「原爆のし"かん」を"え"い"そう"で改め
て知りました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、原爆先生の話を聞いて、今自分が生きていることもすごいこととして、100万度の火球ができるなんて思ってもいなかった。600mはなれた所でさえ、3000度という太陽の半分の温度の熱線をあびても、生きている人がいる。それだけでもすごいなと思いました。

人間が一瞬で炭になって、ほぼ同時にくたかれて粉になってしまったなんて想像したただけでも、そろしいです。

リトルボーイに入っていたウランが60kg中1kgしか燃焼していないのに、広島市がほとんど破滅状態になるのに今ではリトルボーイの千倍の力を持つ核ミサイルを保有している国があるな

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

んておそろしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は、原火暴の言話を聞き、原火暴の
 ひさい地では、苦しい思いをした人が多いと
 いふことが分かり、なぜ自殺や殺したりするのか
 が分からなくなってきました。なぜかという
 原火暴で亡くなった人が、大せいのほ中で、
 自分は生まれた事に感謝しないといけ
 ないと思ったからです。これからは8月6、9日
 を大事に暮らしその日はもくとうをしようと思っ
 ています。

今日、原火暴の言話を聞き、いろいろな物カ
 はかりされ人間は体じょうにおおやけとを
 ぶった人が、はひいて助けようと思てひっはたら
 皮ふが取れる軽手でさわりまのあたりにしたのに
 り帰りたい気持ちもあつたけど、おつとを何回も
 しているのに、人を助けたいという気持ちで何回も
 せなかにかぶりでもしての作業を何回もしていた
 ことが分かりました。

今日は、原火暴の言話をしていただけありがた
 ございしました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の話を聞いて原爆のおそろしさがよく伝わってきました。

よしどうせん人をよくおとしし、がらばっていで下さいと思いました。

今、生きている ありがたさを知りこれから今、生きている時間を大切にしようと思いました。

ぼくは話を聞いているとちやうど原爆は糸色対にしてはならないと思いました。話を聞き終えるところから言うかどじょうが出てきました。

原爆のおそろしさをあらためて感じました。

映像を見てしてもこわいと思いました。原爆をおとした軍がえがおだと言うことが一番こわいと思いました。

よしどうせん人がよくおとしるときにかっこいいと思いました。

聞いていて、ぼくは一日一日を大切にしようと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日はお忙しい中、授業をして下さり、ありがとうございました。

僕は、広島と長崎に原爆が落とされた事は知っていましたが、詳しいことは知りませんでした。

原爆が落ちたことで広島市民の5人に2人、14万人の人が死んでしまったことを知り、原爆は恐ろしいものだと思いました。

原爆が爆発したときの熱さは、7000°と知り、原爆の威力はすさまじく、その熱さを受け、亡くなった人の事を思うと、胸が痛みました。

この話を聞いて、戦争は絶対にやてはいけな
いと改めて思いました。今までも戦争はやては
いけないと聞いていたが、今回の話を聞いて、戦争をすることでたくさんの人の命が奪われ、戦地にいない人までも死んでしまうので、やっぱり戦争はこわいなと思いました。なので、これから、日本が平和であってほしいです。

今日は原爆の話をたくさんして下さい、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

9/8 (水)

僕は原爆のおそれや当時住んでいた人の苦しさをあらためて思いました。しかも分かるようにことをくわしく伝えてくれました。特に、都市で候補となった所が1番目が広島で2番目が小倉で3番目が長崎で最初は原爆を広島に投下させると始めから思っているのかと思いました。後、広島に投下させた原爆には「リトルボーン」という名前が付けられているということが分かりました。その他にも原爆のはばや温度などを分かりやすく説明してくれました。ばくはつのしやらかんの中の温度は100万度で周りの温度が7000℃で地上の温度は3000℃で空中は600mで原爆のはばは200mとこういうことが分かった。

今回話を聞いて与生きているのかとどれだけ幸せな人だろうと思いました。今のことを思い出しながら自分の生活を暮らしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受けて今
何の争いもなく普通に一日一日を過ごして
いることがとても幸せだと思いました。

何の悪いことをしていなくても命をとら
れてしまう自分でなくても大切な人を失っ
たり心に深い傷を負う人もいる私は今まで
で原爆のことについてはあまりよく知り
ませんでした。でも、何事も無いような
生活に突然ばくだんがおとされたり目
の前で人が亡くなったりと原爆はとてもお
そろしいものだと強く感じました。今とな
っては想像もつかないような話、だからと
いてけ、して忘れてはいけないう事を
原爆先生のお話でよく分かりました。

この原爆がもう二度とおきない事
そして、私たちに今できることは命を
大切にすること悪い事をしてなくても命をうば
われぬ人がいる。そんな事がない今自分の命を
大切にそして一日一日を大切にすることだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

「リトルボーイ」には今まで落下傘が「ついている」と思っていたが、本当はラジオゾンデに「ついていた(ラジオゾンデと落としかとも知らなかった)こと」はじめで知った。

・動画でエノラゲイから落とされたリトルボーイが爆発したときのシーンですわっていた人が真黒になってちぢんだと思ったらあと言うまにバラバラにな、てケン飛んで影だけのとして消えてしまったのを見て怖いと思った。

・原爆よりもさらに空気が爆発が核兵器と実際に保有している国がアメリカ、ロシア、中国などの目と鼻の先にある国、しかも仲がよい国がそんなものを持っていることに感(てもしねが一撃に炸裂したらいたい)この世はどうなってしまうかと思った。

・義三さんが平和記念公園の原爆資料館の人形を「きれにする」と言った理由はたぶん、この人形とはくぐらべ物にならないほどもっとひどい姿の被ばく者がたくさんいたからだと思う。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

私は、広島^の原爆ドームと長崎^の平和記念公園に行ったことがあります。いろいろな資料を見てとても悲しくつらいものだと思います。そしてお話を聞いて原爆はどうしてつくられてしまったのだろうかと考えました。落とした人の気持ちはどのような気持ちだったのだろうか。やはりアメリカが勝てると思いうれしか、たのか、それとも人間だから人を殺してしまうのでつらいと思、たか気になりました。

私は、今ここにいれることが幸せでどれだけありがたいことを考えていきたいです。そして原爆は忘れたい過去、でもそのことを忘れずに原爆とはどういうものか教え、伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今までここまでくわしく話を聞いたことが
なかつたので原爆の本当の恐ろしさが分かりました。
自分にとりあまりふれることのないことだったので
今回、当時の人のことや原爆のいかに分かり
良かつたです。戦争がなかつたら原爆は落とされて
いなかつたと思うので、戦争がどれたけ大層なた
のかを改めて感じました。広島にいた人たちが
どんな思いでその当時すごしていたのかを考え、自
分は直接関係しているわけではないけど身近に思え
ました。今まで考えることになかつた命の大
切さのことや被害を受けた人のことを自分のこ
とと同じくらい大切に思っていたいと思
いました。そして自分が体験していないことな
ので分からないこともあるけど、投下された日のこと
や場所を知らない人におしえていけたら良いと
思いました。体験していないことだからそ
大切に考えていきたいです。自分の命や人の命の
ことを今までよりももっと深く考えてい
きたいと思
います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日原爆先生の特別授業を受講して原爆(核)によってもたらされる被害は想像もつかないほど大きくまた戦争の悲しさ、むごさ、哀れたということを改めて理解できました。戦争とは国と国が争うことである。しかし粗は軍人だけではなく無差別に日本国民を苦めたことに原爆というおそろしいものをいねは実験のために落した。このようなことの流れを今日は学習できた。そしてもう戦争を二度としてはいけないことを分かった。同じ人間がたがいに殺し合うことはあってはならない。今回の講演でそのようなことを感じた。

原爆先生の父は原爆を受けた人であり辛い被害を受けなかつたらしい。そして後世に話を伝えている。僕も原爆先生のように戦争のむなしさを伝えていく活動を少ししてみたいなと思った。非営利でそのような活動に必死に取り組む原爆先生の池田さんはとてもすごいと思った。

原爆先生、今日は僕達のために広島の原爆について教えてくださりありがとうございました。先生のおかげで戦争のむごさを改めて感じられました。世界の平和のことを考えながらこれからも生きていきます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆は地面に落ちたときの温度が7000℃とい
うことにとってもおどろいた。太陽よりも熱いと聞いて、
当時の人たちはものすごく熱かったのだと思った。また
原爆の爆心地にいた人が一瞬で消え、黒いしみの
ようなものが残ったのもとてもおどろいた。義三さん
に助けを求めてきたひばく者の姿を聞いて、原爆の
影響の大きさにおどろいた。また、アメリカの落とす
たB29はリトルボーイと呼ばれていることを初めて
知った。きのこ雲は強い上昇気流で雲がどんどん
でき、上がっていき、成層圏までくるとそれ以上上が
れなくなってできることが分かった。アメリカは京都、
広島、長崎、小倉、横浜、新潟が候補で、京都が
推されていたが文化財がたくさんあり、日本人の感
情を考り、京都は候補から外されたことにお
どろいた。リトルボーイにつまっていたウラン60kgのう
ち1kgが燃焼したただけでもものすごく被害があることを
知った。広島は原爆よりももっと被害があるものを保有す
る国があることを知った。自分が今平和な日本に生ま
れたことに奇跡を感じた。戦争のことを忘れないうようにしたい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私が原爆先生の授業を受講して、一番に思ったことは、戦争は2度としてはならないほど危険でおそろしいものだということです。

そして、日本が今は平和ですが、70年前は他の国と戦っていたことが、とてもおそろしかったです。

ゴルフボール1つ位の大きさのウランで広島町の町が焼かれてしまう、これは今の時代では信じられないことです。また、何も悪い事をしていない人たちが、ばくだんが落ちる事も考えず、ふつうの生活をしていたのが、いっしょんでこわされるのは、考えられませんでした。家族、大切な人に、何も言えないうで、せくなっていくのは、どれほどつらいかは想像も出来ません。戦争の間、一生けん命生きようとした方々の分も、戦争に反対しながら生きていこうと思います。戦争があった事は、絶対忘れません。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今回原爆のことについて学んで
今あたりまえに生きていることがとみだけ
幸せかということを改めて感じる事が
できました。広島市には35万人もの多くの
人がいたにもかかわらず、その内14万人
もの人が亡くなってしまっていて一つでも
投下されたらここまで非害が大きいは
思いませんでした。太陽が6000度でそれよりも
高い温度の物が地上600mにあつたということに
一番おどろきました。音速よりも速い衝撃波
で建物をなぎなぎにしたり人の命をぎせいにする
ような物をなぜその国は作ってしまった
のかいまだによく分かりません。たまたま
投下する場所の条件を満たしてしまつた
広島市の何も悪いことをしてない人たちが
亡くなってしまふのはおかしいなと思つ
ました。今ではほとんどの物が存在することにおどろ
いています。今回受講して一番思ったことは人は生きて
いるだけで幸せでめぐまわっていることだと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回原火暴先生の特別授業を受講して、戦争はやっぱり2度とおこしてはいけないんだなとあらためて思いました。また原爆で被爆した人たちは何の罪もおかしていないのに、苦しみ、死んでしまったということからも戦争はおこしてはいけないんだと分かりました。

リトルボーイにつんできていた60kgのうち、1kgでゴルフボール位の大きさしかないウランが燃焼しただけで、広島が灰色の世界になってしまったことを聞いて、なんでこの兵器を作る科学力がちがうものか(使用れなかつたんだろう)と思いました。

14万人の死者のうち1/3の2万人が死体も骨のすらずに消えていったということを知り、原火暴の威力が新たに分かり、この原火暴の1000倍もの力がある兵器が今現在様々な国がもっていると知って今の平和は普通ではないのだとあら

ためて分かりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日はありがとうございました。

原爆くがこおいということが命
がけました。

9632mのすごく高いところから
リトルボーイをおとすのがびっくり
しました。

候補にきた都府 ①本島で②小倉
③長崎で京都がはがいさおてひ
なたの理^りが^がお寺や古いのかがあるか
こといらのかすごいと思いいまし
た。

衝撃波の速さ毎秒440mで
すごいと思つた。あと音速は340
m/sですごいと思いいまし
た。

ほかの学校でも原爆のことを
教えにいらしてください。原爆先生
がきてよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

私は、原爆のことは知っていますが、こんなにくわしく聞いたのは始めてでした。21歳になると男子の人たちが「必ず」入隊しなければならぬということが「かわいそう」と思いました。又、何も悪いことをしていないのに被爆した人たちもかわいそうです。

地上にいた人は、3000度の熱線と、衝撃波の強さで亡くなったと聞きました。太陽よりもあつくなった球体がすぐ上にあつたら、テンパると思います。ウラコが1kgだけでも広島の99%の人の命を取ったのだから、上の人だけで、物事を決めることはいけないと思いました。負けることが分かっていても戦争をやめれば、まだ99%の人はすくえたと思います。

私は、平和とは、今、ここに生まれていることです。

朝昼夜にご飯を食べ、学校に行つて、かていることです。これからも、この生活がおくれることに感謝をしながつら生きていきたいです。

今回、90分という長い時間にも、お話しをしていただき、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は特別授業を受講して、原爆が落ちた時の大変さ、原爆の仕組み、なぜ広島に落としたのか分かりました。

原爆が落ちた時、2回のしょうげきがあり、2回目のしょうげきは、1回目のしょうげきがお返して起きるということを今日知りました。また、焼けこげてしまった人達がなげきながら『助けて...』と助けを求めました。」ということを知り、今私が生きているのかと「れた」け恵まれているのかを伝えさせられました。

原爆は直径200m、表面温度7000℃で、太陽より温度が高いということを知り、どれたけのい力を持っているのか分かりました。

それから、広島に原爆を落とした理由は、直径5kmをこえ、効果的にはかいてき、空しゅうがそれまでに蕪かたかた」と分かりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9/8

ぼくはいままでで初めて原爆の話をごまごまかき聞いて、原爆というのは本当におそろしいものということが分かります。原爆の話を聞いてみると、人の手の皮がドロドロとむけるや、助けて、助けてなどの実際にあったことが耳にすぐよく入ってきて、そのときのことが想像できるぐらいまで感じてこわいなあとすごく思いました。はだしのゲンを読んだことがあるのでもっと感じるがありました。原爆というのはおもに、熱線、衝撃波、放射線の3つに分かれていて、ウランというものが爆発してあのようなおそろしい光景が起きているということが分かってゾッとしたりはだか立ちました。ほかにも原爆の落とされる条件として直径5kmをこえる土地で、平野であり空襲が一度もきたことがない所ということで一番いいとされた土地が京都だったということや、広島に落とされた原爆の名前がツルボーイで標高9000m以上のところから落とされたことも色々なことについてを今日いきなり知ることができました。原爆を知らない人がたくさんいると思うのでその人たちにもつたえたいってほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私はあらためて原爆のいりくを知り
こういった物はもうぜったいに使用したら
いけないと思いました。死亡率が40%と
すごいいりくで外周でも7000℃ととてもあつ
くまけんなものだなと思いました。そして原子爆弾
投下都市の条件が直径5kmを超え平野で
空襲がなかった都市ではじめ京都に原爆を
落とそうとしていたけど人にとってじゅうよう
な文化があり広島になって相生橋に
エノラ・ゲイにより、リトルボーイが落とされ
島病院に落ちていった。そしてエノラ・ゲイ
は6時間後に帰かんした。

ゴルフボール1個分でこういった場所が
やけ野原になったというのかすごいいりくとい
うのか分かるしこの倍になっていたらもっと大変にな
っていたしそうすると今の時代に日本で戦争になっ
ていなくてよかったですし私達が大人になっ
ても戦争があつてはいけないとあらためて思
いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、原子爆弾のおそろしさがよく分かった。一番おどろいたことは、原子爆弾の威力で広島市の人口の40%もの人が死んでしまうこと分かったときはとてむびくりした。また、原爆が落ちたときの熱線、衝撃波、放射線の強さも知ることができた。太陽よりも熱い表面温度が7000度の原子爆弾が落ちて、人が消えるようにしていなくな。たという非現実的なことも受け入れなければならないということも改めて感じた。そして、以前から気になっていた原子爆弾投下都市についても学ぶことができた。原子爆弾投下都市には条件があり、直径5kmを超えた平野で空襲がなかったところが候補になっていたそうだ。候補になった都市は実際に原子爆弾が落ちた広島や長崎の他に、横浜や京都などの都市も考えられていたようだ。このように授業を受ける前と受けた後では、原子爆弾について深く考えることが出来るようになった。原子爆弾の事件を知らない人も知っている人も改めてよく考えてみる必要があると思う。これからも学んだことを忘れないようにしていきたい。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆先生の授業を受けて、原爆の怖さを
知りました。一瞬のうちにでくなってしまった人、さっき
まで生きていたのに、原爆というおそろしい兵器
によって命を落としたことを知って、二度とこんなこと
があってはいけな**い**と思いました。今も原爆によって
苦しんでいる人がいるのに、原爆をおとした人は、
その苦しみを知らないことに、それは間違っていると
思います。だからこそ、戦争は決してしてはい
けな**い**と思いました。原爆の恐怖、苦しみは、
あのときのように知ることができません。だから、
原爆が日本におとされたことを忘れてはいけな**い**
し、もっと学ぶことが大切だと思いました。
原爆がおとされて、爆発したときの怖さは、言葉
で聞いても、怖く感じましたから、被害者の方
はもっと怖かったと思います。一瞬のうちに町
が燃えつくされるなんて聞くと、怖くおそろ
しかったです。原爆がおとされたことは、忘れてはいけな**い**
いし、知らない人には伝えていく必要がある
と思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受講するまで
 ほぼ"原爆のこゑをしませんでした。"話を聞いて
 今までは、考えられないようなことが昔では、あたり
 まえのことのようにおこっていたので少しビックリしました。
 私から原爆がおとされた日に広島にいて、外などには
 いたというそうそうをするだけでもすこおえろ
 いですが昔は、そうそうでは、なくて本当に原爆
 がおとされていたので本当に今も生きていることを
 とても幸せにおもいます。命が"とても大切だ"という
 ことも分かったので命は"んが"にしたら、原爆の日は
 まだ"生きてくても生れずに"てくたしてしま、た人たちを
 大げいいると思うのであうため自殺などもよくない
 ということにもきずかされました。正直まだそんな
 に理解できて、いませんが人の命を守るということ
 は"どう"ことなのかを今とはいわず大人になるに
 つれたんたんだん分かってくる人のかんじょうなどむ
 ずかしいことも少しづつ考えかえててくたして、またたちの
 ことも考えていけたらと話を聞いてとても強く感
 じました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

9/7

今日特別授業をして分かったことは、やはり戦争はいけないと分かったことと原爆でたくさんの方の命が亡くなってしまったことです。他にやはりトルボーイがもし小金井市に落とされたらとても怖いと思います。

原爆先生の話を聞いて、印象に残ったのは10歳の男の子が自分の姉がけがをして男の子が兵隊を呼んで姉を救済したという話です。男の子の行重カと兵隊さんの行重カがすごいと思いました。

最後のお父さんのインタビューでは、お父さんがどれだけ辛かったのかなどが分かりました。

私があるため分かったことは世の中に戦争はいらないんじゃないか、こらして平和にくらせることに完謝しなければダメだと分かりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、今回原爆先生の話を聞いて、
感じたことと考えたこと、分かったこと
が2つあります。

1つ目は、原爆の悲さんさです。
熱線と衝撃波を受けただけで、体
の中の水分が、いっしょに蒸発してなくなり、
体がくだけ、消えるか、すみのかた
まりになると聞いて、とてもびっくり
しました。

2つ目は、今ここで自分が生きてい
るということのすばらしさです。「死
」や「殺」というのをすぐに口に出してはい
けないと改めて感じました。

また、疑問に思ったことがあります。
それは、単じゅんですが、なぜアメリ
カは原爆を落したのかということですか。
空しゅうかなが、たことなどの条件にし
てまでリトルボーイのひがいをなぜ
知りたかったのかを疑問に思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは今まで原爆は日本に落ちて、何人もの人が命を落とした物だと思っていました。しかし原爆先生から聞いた原爆は自分の思っていたのよりも、と苦しく、ひさんだたことを知りました。原爆先生が言っていたことだと、皮ふが大やけどを負って今でも皮がはがれそうになっていたり、川や池にゆでられたように真っ赤になっている死体がいたことでした。ぼくはそのことを聞いたときに今ぼくたちが生きていることは決して当たり前ではないなと思いました。

また原爆に至るまでと、原爆の知識もついたと思います。その中でも一番驚いたことは原爆の温度です。それは表面温度が太陽の1000℃も高い温度の7000℃だからです。また中心の温度になると100万℃にもなります。このような物をなぜ人間は作ってしまったのだとちょっと不思議に思いました。

原爆のことも分かったと思います。今日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆について教えてもらい、1番印象に残ったのは、今自分が生きているすばらしさです。

原爆が落ちた真下にいた人達は、あとかたもなく亡くなってしまったという事を聞き、あらためて原爆の威力を感じました。原爆の衝撃波の速さは音速よりも早い事を知り、とてもびっくりしました。現在で表すと、東京スカイツリーのてっぺんにとどかない所で原爆が爆発したということも分かりました。赤い玉とな

た原爆の表面の温度が7000℃、地上の温度が3000℃ということを知り、太陽よりもあついものが600mの高さにあるという事を考えただけで体があつくなりそうです。そんな中で命をつないでくれた方にすごく感謝しています。ウランが60kgある中の1kgだけが燃焼したのに広島あたりが破壊されてしまったという事は、もし60kg全て爆発してしまたら、本州が破壊されてしまうのではないかと、考えてとてもびっくりしました。今回学んだ事を忘れずに生かして行きたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

分かったことは、原子爆弾には100万℃〜7000℃
という高い温度だったことです。それに高い温度が
下から600mの位置にあって爆発したのが分かり
ました。ほかにも、爆弾の名前で「リトルボーイ(小
さな子・少年)が広島におとされたことや、最初爆弾
が落とされる候補になった都市が広島だけじゃなく
らつの小倉・長崎・横浜・新潟・京都の都市が候補
で一番は京都だったか、やめた理由も分かりました。

原爆先生の話を聞いて思ったことは、原子
爆弾が落ちなかったら、いろんな人が苦しんだりこ
わい思いをしなかったと思います。

びっくりしたことは、ウランのねんりょう
が60kgの中で1kgしかねんりょうしなかった
のがびっくりしました。

いんしょうに残ったことは、話を聞いて
いて、熱線・衝撃波・放射線でみんなが病気に
なりました。そこでいんしょうに残りました。

原爆先生のお父さんのビデオを見て本当につらかったん
だなぁと思いました。今日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

まず「原爆」がどんなものなのか、という事が分かった。原爆のいかにではなく、つまり、原爆が、ひき起こすことだ。

リトルボーイは、人を苦しめ、痛めつけ、そしてあげくの果てに人を殺した。亡くなった人も、のこされた人も、今も苦しむ人も、普通に、生きていたはずの時間を盗まれた。

アメリカは、平和のため戦争を始めたと言っている。聞く。「B29」エノラ・ゲイは、チベット大佐という人の母の名前らしい。

アメリカは、いやアメリカという国のトップは何を考えていたのだろうか。

平和のための戦争とは、人を殺す原爆を運ぶものに母の名前をつけるとは。

なぜだが不思議になってくる。恐ろしい時代を超えて生きている自分の事。そして今、大国は皆リトルボーイ1000発分もの原爆を持っている事。

やろうと思えばその原爆は投下できるのだろう。平和を見つめ直す必要がある気がする。